

## 「恵庭市国際化推進アクションプラン」進捗状況調査について〈概要書〉

### 1. 目的

恵庭市では、平成18年に「恵庭市国際化の指針」を策定、平成29年3月に「恵庭市国際化の指針【改訂版】」を策定し、本指針に基づき、行政、市民、企業、国際交流団体がそれぞれの役割を担い国際化を進めている。

一方、「恵庭市国際化推進アクションプラン」は平成30年度から令和7年度（第5期恵庭市総合計画内）までの間、「恵庭市国際化の指針」の具体的な取り組みについて示すもので、実施期間を前期（4年）と後期（4年）に分けて進捗管理を行うこととしている。

令和3年度末で実施期間の前期を経過したため、関係部署及び市内国際交流団体などからの報告に基づきアクションプランの進捗確認・効果検証を行い、その結果を関係者にフィードバックすることで、効果的なアクションプラン後期の遂行に繋げることを目的とする。

### 2. 調査過程

7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁議報告</li> <li>・全課を対象とした進捗調査</li> </ul>
8月～9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内進捗状況取りまとめ</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査報告書(案)の作成、</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内国際交流団体、多文化共生のまちづくり連絡協議会構成団体へ報告書内容の確認及び活動状況提供依頼</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査報告書の内容確定・報告</li> <li>・市内国際交流団体等への報告書の送付</li> </ul>



現在

### 3. 調査結果

調査の結果概要を以下に示す。

#### ● 目指す姿1 誰もが暮らしやすい多文化共生のまちづくり

異文化理解の促進、多言語化の取り組み、外国人相談体制整備などの様々な取り組みが確認できた。これらの取り組みを継続するとともに、専門的分野に関しては外部組織との連絡体制を活用し、また外国人からニーズ把握などを行い、効率的・効果的に進めることが必要。

#### ● 目指す姿2 豊かな国際化を育む人づくり

市民向けの外国語学習機会の提供や交流事業など、多種多様な取り組みが確認できた。これらの取り組みをとおして、グローバル化社会で必要となる「異文化適応力」「コミュニケーション能力」「課題解決力」の育成に繋がったものと推測する。

- **目指す姿3 海外都市・人との交流から広がる国際化**

新型コロナウイルス感染症の感染拡大前にあっては、数々の取り組みが確認できた。一方、感染症拡大の影響を最も受けたテーマの一つであり、従前の国際交流の方法での活動が出来なくなる期間があった。そのような状況でも在住外国人を対象とした交流実績も確認されたことは、本市において国際交流が浸透した結果だと考えられる。

- **目指す姿4 観光・産業を通じて世界に魅力発信**

日本国政府は2030年までに訪日外国人旅行者数6000万人を目標にし、旅行者の受け入れ環境整備を推進している。地域の発展のためには、引き続き恵庭市の観光産業を国内外へアピールするとともに受け入れ体制を整える必要がある。

- **その他:アクションプランの指標設定などについて**

それぞれの実施主体(行政、市民団体など)によって理念・方針・活動頻度が異なること、数値などには表れないような活動効果があることを鑑みると、本アクションプランの進捗を数値などの指標を用いて画一的に計ることは困難。そのため、現時点では指標設定を行わないこととする。ただし、行政、市民、企業、国際交流団体などが一丸となって国際化を推進するためには、今後は進捗を確認できるような表現方法を模索し、且つ関係者に情報提供をすることが望ましい。

#### 4. 現状と今後

令和3年度末時点で国内の在留外国人数は276万人、また令和3年10月末で約173万人の外国人が就労している。全人口の約2%が外国人という状況の中で、普段の暮らしの中でも外国人との接点も多くなり、相互理解を基本とした多文化共生社会の推進が必要。

恵庭市においては、令和4年8月末で外国籍市民は531名。本アクションプランを開始した平成30年4月1日を基準にすると、その数は約1.6倍。一方、約半数が「技能実習」や「特定技能」の在留資格のため、現時点では外国人の人口動態は流動的。

賃金の課題や、他国との外国人材獲得競争により、実習・就労目的で来日する外国人材数は限定的になる可能性がある。そのため、外国人にも恵庭市を選択してもらえるよう「恵庭宣言」にあるとおり「相互理解とコミュニティ」、「長い目で見た継続的な実践」を念頭に「誰もが快適に暮らせるまちづくり」を進める。

恵庭市国際化推進  
アクションプラン  
進捗状況確認調査  
報告書

恵庭市 企画振興部 企画課

令和4年12月

## 1. 恵庭市国際化推進アクションプラン進捗状況確認調査について

### (1) 実施背景

恵庭市では、平成18年より10年間の推進期間として「恵庭市国際化の指針」を策定し、指針に基づき、行政、市民、企業、国際交流団体がそれぞれの役割を担い国際化を進めてきました。平成27年度で指針の推進期間が終了したことなどを踏まえ、平成29年3月に「恵庭市国際化の指針【改訂版】」が策定され、さらに連携・協働のもと国際化を推進することを目指しています。

指針では恵庭の市民一人ひとりが国籍や文化的背景に関わらず、多様な価値観を理解しようとする意識をもち、市民、民間団体、行政との協働により国際社会と繋がる恵庭のまちづくりを総合的に推進していくための基本目標や取り組みの方向性を示しています。

「恵庭市国際化推進アクションプラン」は平成30年度から令和7年度(第5期恵庭市総合計画内)までの間「恵庭市国際化の指針」を具体的にどのように取り組み進めるのか示すもので、実施期間を前期(4年)と後期(4年)に分けて進捗管理を行います。

この度、本アクションプランの実施期間の前期(平成30年度から令和3年度まで)を経過したため、本アクションプランの進捗状況・実績、課題や今後の予定についての調査を行いました。

### (2) 調査対象期間

「恵庭市国際化推進アクションプラン」の実施期間は平成30年度から令和7年度とし、前期(4年)と後期(4年)に分けています。今回の調査では、実施期間の前期(平成30年度から令和3年度まで)を調査対象としています。

### (3) 進捗状況の調査、評価について

本アクションプランの実施期間の前期(平成30年度から令和3年度まで)を経過したため、本アクションプランの進捗状況・実績、課題や今後の予定を取りまとめました。

一方、今般の新型コロナウイルス感染症が我が国の社会経済、そして私たちの生活に与える影響は甚大なものであります。感染症やそのまん延防止のための措置により、私たちの生活においても「新しい生活様式」の実践が求められました。そのため、市民、民間団体及び行政という国際化を推進する主体にあっては、例年のような取り組み・事業の実施ができなかったものと考えられ、実際に本アクションプランの進捗状況・実績からもその影響が生じています。

これらの状況を考慮し、今回の進捗状況調査では各取り組み・事業の実績、課題、今後の予定の取りまとめを行い、この結果は、本市における国際化推進状況を把握する参考資料とし実施期間後期(令和4年から令和7年)の取り組みに繋げていくこととします。

なお、本報告書の作成に際し、恵庭市は定期的なやり取りがある市民団体、企業、町内会などに対し、本アクションプランに係る活動実績有無及び本報告書への記載希望について問い合わせを行い、提供された情報を本報告書に記載しています。

(4) 恵庭市国際化推進アクションプラン進捗状況調査の記載について

今回の調査では、本アクションプランの前期(平成30年度から令和3年度まで)に該当する進捗状況・実績、課題や今後の予定の取りまとめを、以下の説明欄のとおり記載しました。

《「想定される取組主体」記載欄》

- 行政:国・北海道・恵庭市が主体となって実施する取り組み
- 協働:行政と民間事業者又は市民や市民団体との連携によって実施する取り組み

《事業実施状況の記載欄》

当初計画を示す「計画」と、実績を示す「実績」を記載しています。

  

《「目指す姿」及び「重点目標」の記載欄》

目指す姿 重点目標	取組主体	前期				後期		
		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
<p>○学習・交流する機会の設置</p> <p>お互いの文化や生活習慣を理解するための学習や交流の機会を設け、相互理解を深める。</p> <p>A) 異文化交流会の開催</p> <p>B) 海外体験報告会の開催</p> <p>C) 町内会での多文化共生学習機会等の促進</p> <p>D) 市職員向け多文化共生研修会や外国人接客など学習会の開催</p>	協働	計画	実施(見直し)	実施				

  

《アクションの記載欄》

各アクションレベルにあるアルファベットのリスト(具体的な活動)は、策定ときに「考えられる取り組み事例」として記載されています。

進捗・実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>【読書推進課】市内小中学校のALT(外国語指導助手)が読み手を務める「BALLOONおはなし会」を開催した。※H30年度:10回実施、155名参加、R1年度:9回実施、112名参加、R2年度:7回実施、79名参加、R3年度:6回実施、79名参加</li> <li>【企画課】H30年度及びR1年度のまちづくりチャレンジ協働事業(申請団体:美しいまちづくり恵庭ネットワーク)でティマル市の紹介コーナーを設置。また作品の一部をティマル市へ送付した。</li> <li>【企画課】H30年度に「やさしい日本語講座」を市職員向けに実施した。</li> <li>【企画課】R1年度まちづくりチャレンジ協働事業(申請団体:えにわクラフトラボ)で、サウナ(フィンランド式)・銭湯に関するトークショー等が行われた。</li> <li>【企画課】R3年度に東京オリンピックホストタウンとしてグアテマラ競歩選手団の事前合宿を実施。練習場所付近では住民等が選手たちに声援を送り、選手団がそれに応える様子も確認できた。また、選手団との事後交流会を実施し、市民ら145名が参加した。</li> <li>【企画課】R3年度に恵庭商工会議所青年部の協力のもと、かぼちゃランタンづくりを実施し、外国人3名と日本人17名が参加した。</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人による読み聞かせや、外国の文化紹介及び姉妹都市との絵画交流等は、全世代の市民が他国の文化や生活習慣等に触れられる機会となった。</li> <li>各種交流事業や講座等は文化や生活に関する相互理解を促進する機会となった。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の拡大等により、市内においてもイベントが実施を控える状況が続いた。そのため、また開催回数や参加人数に影響がでた。姉妹都市やその他の国との交流についても困難な状況が続いている。今後も、新型コロナウイルス感染症のまん延状況に十分配慮しながら、他国文化の理解促進や交流機会の提供を行う必要がある。</li> </ul>
予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>【読書推進課】ALTが不在となる夏季・冬期休暇等を除き、毎月1回の開催を予定している。</li> <li>【企画課】姉妹都市、その他の国との交流を継続する。また市内において多文化理解の促進事業を行う。</li> </ul>

  

《「進捗・実績」、「効果」、「課題」及び「予定」の記載欄》

(5) アクションプランの体系

<b>目指す姿1</b> 誰もが暮らしやすい多文化共生のまちづくり	<b>重点目標① 地域における外国人住民との交流促進</b>
	○学習・交流する機会の設置
	○日本の生活習慣や文化を学ぶ機会の設置
	○外国人住民も安心して暮らせるまちづくり
	○市内の行事への参加促進
	<b>重点目標② 生活情報の多言語化推進</b>
	○多言語による情報発信
	○生活案内、観光案内、案内標識等の多言語化
	<b>重点目標③外国人住民に対する相談体制の整備</b>
	○相談体制・インフォメーションセンターの整備
○多言語対応可能者の連絡体制の整備	
○外国籍又は海外出身の子どもたち(小中学生生徒等)へのサポート体制の整備	
<b>目指す姿2</b> 豊かな国際感覚を育む人づくり	<b>重点目標①外国語学習機会の充実</b>
	○市民向け外国語講座等の推進
	○子どもたちの語学能力とコミュニケーション能力向上事業の推進
	<b>重点目標②小中学校における国際理解教育の推進</b>
	○異文化理解等の学習活動の推進
	○海外の学校との交流活動を促進
	○ALTの配置
<b>重点目標③国際社会で活躍できる人材の育成</b>	
○セミナー・ワークショップなどの開催	
○国際交流プログラムへの取組みを促進	
<b>目指す姿3</b> 海外都市・人との交流から広がる国際化	<b>重点目標①市民の国際的視野を広める</b>
	○中国・貴陽市、ニュージーランド・ティマル市との交流
	○姉妹都市・友好都市等の紹介
	<b>重点目標②団体と市との協働による交流の推進</b>
	○留学生・ホームステイの派遣・受入れ促進
	○海外都市との交流事業等に関する情報共有
<b>重点目標③海外都市を通じて広がる世界との交流</b>	
○大使館・領事館等を活用した事業等の推進	
<b>目指す姿4</b> 観光・産業を通じて世界に魅力発信	<b>重点目標①外国人観光客誘客促進</b>
	○海外向けPR活動の推進
	○魅力情報発信パンフレット等の作成
	<b>重点目標②外国人観光客受け入れ体制の整備</b>
	○案内板、ホームページ、観光パンフレット、観光ガイドなどの外国語対応の充実
	○外国人接客研修等の開催、国際観光通訳ボランティア等の育成
	○外国人観光客への対応マニュアルや会話ツール等の活用促進
<b>重点目標③海外投資等誘致の推進</b>	
○「恵庭」の知名度向上	
○海外企業等のニーズに対し、早急かつ的確に対応できる体制づくり	

## 2. アクションプラン進捗状況調査結果

### (1) 進捗・実績、効果などについて

目指す姿 1:誰もが暮らしやすい多文化共生のまちづくり		想定される 取組主体	前期				後期			
重点目標 ① 地域における外国人住民との交流促進			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
<b>○学習・交流する機会の設置</b> お互いの文化や生活習慣を理解するための学習や交流の機会を設け、相互理解を深める。 A) 異文化交流会の開催 B) 海外体験報告会の開催 C) 町内会での多文化共生学習機会等の促進 D) 市職員向け多文化共生研修会や外国人接遇など学習会の開催		協働								
進捗・実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【読書推進課(実施)】市内小中学校のALT(外国語指導助手)が読み手を務める「BALLOONおはなし会」を開催した。※平成30年度:10回実施、155名参加、令和元年度:9回実施、112名参加、令和2年度:7回実施、79名参加、令和3年度:6回実施、79名参加</li> <li>● 【企画課(実施)】平成30年度及び令和元年度のまちづくりチャレンジ協働事業(申請団体:美しいまちづくり恵庭ネットワーク)でティマル市の紹介コーナーを設置。また作品の一部をティマル市へ送付した。</li> <li>● 【企画課(実施)】平成30年度に「やさしい日本語講座」を市職員向けに実施した。</li> <li>● 【企画課(実施)】令和元年度まちづくりチャレンジ協働事業(申請団体:えにわクラフトラボ)で、サウナ(フィンランド式)・銭湯に関するトークショーなどが行われた。</li> <li>● 【企画課(実施)】令和3年度に東京オリンピックホストタウンとしてグアテマラ競歩選手団の事前合宿を実施。練習場所付近では住民などが選手たちに声援を送り、選手団がそれに応える様子も確認できた。また、選手団との事後交流会を実施し、市民ら145名が参加した。</li> <li>● 【企画課(実施)】令和3年度に恵庭青年会議所の協力のもと、かぼちゃランタンづくりを実施し、外国人3名と日本人17名が参加した。</li> </ul>									
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 外国人による読み聞かせや、外国の文化紹介及び姉妹都市との絵画交流などは、全世代の市民が他国の文化や生活習慣などに触れられる機会となった。</li> <li>● 各種交流事業や講座などは文化や生活に関する相互理解を促進する機会となった。</li> </ul>									
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新型コロナウイルス感染症の拡大などにより、市内においてもイベントが実施を控える状況が続いた。そのため、開催回数や参加人数に影響がでた。姉妹都市やその他の国との交流についても困難な状況が続いている。今後も、新型コロナウイルス感染症のまん延状況に十分配慮しながら、他国文化の理解促進や交流機会の提供を行う必要がある。</li> </ul>									
予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【読書推進課】ALTが不在となる夏季・冬季休暇などを除き、毎月1回の開催を予定している。</li> <li>● 【企画課】姉妹都市、その他の国との交流を継続する。また市内において多文化理解の促進事業を行う。</li> </ul>									

目指す姿 1:誰もが暮らしやすい多文化共生のまちづくり		想定される 取組主体	前期				後期			
重点目標 ① 地域における外国人住民との交流促進			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
<b>○日本の生活習慣や文化を学ぶ機会の設置</b> 日本の生活習慣や文化・言語の学習機会の提供や各種行事への参加案内など、外国人住民が地域へ溶け込むための手法を検討し実施する。 (考えられる取り組み事例) A) 日本語習得支援ボランティアの育成 B) 日本語習得支援事業の実施 C) 日本文化体験会等の実施		協働								
進捗・実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【企画課(実施)】令和元年度に外国人技能実習生と恵庭市職員がすずらん踊り練習会を実施した。</li> <li>● 【企画課(実施)】令和元年度に外国人を対象としたよさこい演舞体験イベントを開催し、外国人11名が参加した。(札幌市との連携中核都市圏事業「ふるさと×学生大作戦」事業の一環)</li> <li>● 【企画課(手法検討)】文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業 地域日本語教育スタートアッププログラムを令和2年度から実施した。同プログラムの実施前から現在まで、日本の生活習慣や文化を学ぶ機会の提供方法について検討を続けている。</li> <li>● 【企画課(実施)】文化庁日本語教育スタートアッププログラムで以下のボランティア養成セミナー・講座を実施した。               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 令和2年度:6回の日本語習得支援ボランティア育成講座を実施し、延べ217名が参加</li> <li>● 令和3年度:6回の日本語習得支援ボランティア育成セミナー・講座を実施し延べ68名が参加</li> </ul> </li> </ul>									
	効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 文化体験イベントは、日本文化に触れる機会が少ない在住外国人にとって貴重な経験となった。</li> <li>● 市事業及び文化庁事業を実施することで、地域日本語教室『日本語ひろば「えにわ」』の開催準備が整った。</li> </ul>								
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新型コロナウイルス感染症の拡大などにより、事業の実施に影響が出た。今後も、新型コロナウイルス感染症のまん延状況に十分配慮しながら各種事業を推進する。</li> </ul>									
予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【企画課】令和4年度から地域日本語教室『日本語ひろば「えにわ」』を実施するとともに、適宜日本語習得支援ボランティア育成講座を実施する。また、外国人も参加しやすいイベントの企画や、市内イベントの情報共有を行う。</li> </ul>									



目指す姿 1:誰もが暮らしやすい多文化共生のまちづくり		想定される 取組主体	前期				後期			
重点目標 ① 地域における外国人住民との交流促進			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
<b>○外国人住民も安心して暮らせるまちづくり</b> A) 災害や緊急時における円滑な支援のため、日頃から町内会、ボランティア、行政が連携し、地域が一体となって外国人が安心して暮らしているまちづくりの進め方について手法を検討・実施をしていく。		協働								
進捗・実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【消防署救急指令1・2課(実施・手法検討)】多言語対応訓練(外国人通報者、消防、通訳者による通話訓練)を以下のとおり実施した。また、適切な対応方法につき継続的な検討を行った。               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 平成30年度:通訳者内訳(市職員2名・消防職員1名)</li> <li>● 令和元年度:通訳者内訳(ALT1名・消防職員2名)</li> <li>● 令和2年度:通訳者内訳(市職員4名・消防職員2名)</li> <li>● 令和3年度:通訳者内訳(市職員3名・消防職員1名)</li> </ul> </li> <li>● 【基地防災課(実施)】出前講座として「避難所運営ゲーム(HUG)北海道版～Do はぐ～」(以下、「Do HUG」とする)を以下のとおり実施した。               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 令和元年度:大町町内会、黄金中央町内会、柏陽中学校1年生を対象として実施した。</li> <li>● 令和2年度:恵庭中学校(教職員)を対象として実施した。</li> <li>● 令和3年度:恵み野中学校教職員、柏陽中学校1年生、恵庭中学校3年生を対象として実施した。</li> </ul>               ※「Do HUG」は避難所運営を疑似体験できるカードゲーム形式の防災教育教材で、日本語が理解できない外国人旅行者が避難所を訪れる設定がされており、言語・文化が異なる避難者への対応方法を考えるきっかけとなる。             </li> <li>● 【企画課(実施・手法検討)】令和元年度に町内会、教育機関、外国人受け入れ企業、行政で構成される「多文化共生のまちづくり連絡協議会」を設置した。同連絡協議会では、地域における多文化共生にかかる情報収集、課題の整理、多文化共生のまちづくりにつき情報交換及び手法を検討した。また警察、出入国在留管理局との関係づくりを行った。</li> <li>● 【企画課(実施)】令和元年度に外国人受け入れ企業などの協力の下、恵庭市在住外国人の生活についてのアンケートを実施した。在住外国人122名から回答があった。</li> </ul>									
	効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市職員(通訳者)が119番通報の流れを確認し、想定訓練を実施する事で、外国人通報者とのやり取りにつき理解を深めるきっかけとなった。</li> <li>● Do HUG の実施を通して、外国人への配慮、接し方についての啓発に繋がった。</li> <li>● 「多文化共生のまちづくり連絡協議会」の構成組織間で顔の見える関係をつくる事ができた。また、アンケートを通じて市内外国人の生活状況の把握、ニーズの把握に繋がった。</li> </ul>								
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 引き続き災害に対する町内会、学校などへの意識啓発が必要である。</li> </ul>									
予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【基地防災課】今後も、町内会や学校などへの Do HUG を実施する。</li> <li>● 【消防署救急指令1・2課】多言語対応訓練を継続的に実施する</li> <li>● 【企画課】「多文化共生のまちづくり連絡協議会」は年2回程度の開催を予定。また、在住外国人の生活状況及びニーズ把握については、必要に応じてアンケート、ヒアリングなどを通じて、外国人住民も安心して暮らせるまちづくりに繋げる。</li> </ul>									

目指す姿 1:誰もが暮らしやすい多文化共生のまちづくり		想定される 取組主体	前期				後期				
重点目標 ① 地域における外国人住民との交流促進			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
<b>○市内の行事への参加促進</b> A) 外国人住民も積極的にスポーツ・文化・芸術等の市内行事に参加してもらえるような取り組みを検討し実施する。		協働	計画		実施						
			手法検討		実績		実施		手法検討		
進捗・実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【企画課(実施)】令和元年度に外国人を対象としたよさこい演舞体験イベントを企画・開催し、外国人11名が参加した。(札幌市との連携中枢都市圏事業「ふるさと×学生大作戦」事業の一環)</li> <li>● 【企画課(実施)】令和3年度に恵庭青年会議所の協力のもと、かぼちやランタンづくりを企画・開催した。外国人3名と日本人17名が参加した。</li> <li>● 【企画課(実施・手法検討)】市内のイベントなどの情報を受け取った際には、適宜、市ホームページ、SNS などでの広報及び連絡が可能な外国人や企業などに周知した。また、効果的な取り組みを常時検討した。</li> </ul>										
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市内で実施されるスポーツ・文化・芸術などのイベントに参加した外国人からは「楽しかった」というコメントがあった。また、各種イベントに対するニーズがあることが判った。</li> </ul>										
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本語に慣れていない外国人にとっては、市内のイベント情報を収集することが難しい。また、基本的にイベント情報は日本語で書かれていることが多いため、内容が伝わらないことがある。そのため、やさしい日本語などで書かれたイベント情報を提供する必要性を周知する必要がある。</li> </ul>										
予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【企画課】市ホームページの多言語対応を推進する。「やさしい日本語」に関する啓発を継続する。</li> </ul>										

目指す姿 1:誰もが暮らしやすい多文化共生のまちづくり		想定される 取組主体	前期				後期			
重点目標 ② 生活情報の多言語化推進			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
<b>○多言語による情報発信</b> A) ホームページをはじめ様々な媒体を通じて、恵庭市の自然、観光、経済、文化、生活、国際交流活動などの多言語による情報発信を進める。		協働								
進捗・実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【生活環境課(実施)】市ホームページのエコバス及び駐車場に関する説明を英語で表記した。</li> <li>● 【廃棄物管理課(実施)】平成27年度から、ごみと資源物の出し方・分け方について英語及び中国語版のパンフレットの窓口での配布を開始した(市ホームページからデータ閲覧およびダウンロードが可能)。また、令和元年度からごみ分別事典検索ウェブサイト「ごみサク」を公開した。</li> <li>● 【広報課(実施)】平成30年度に市ホームページに自動翻訳機能を搭載した。その後も自動翻訳機能の利便性を高めるために改修作業を適宜実施した。</li> <li>● 【まちづくり推進課(実施)】令和元年度から恵庭市移住定住サイト「ガーデンシティ Life」において、英語での情報発信を開始した。</li> <li>● 【企画課(実施)】市ホームページや市の facebook アカウントから、イベント情報などの外国人に有用となりえる情報を日本語、やさしい日本語、英語などで発信した。</li> </ul>									
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市ホームページや市 facebook などにおいて、多言語での情報発信が促進された。また、外国人から移住定住、イベントにつき問い合わせがあった。</li> <li>● ごみと資源物の出し方・分け方の外国語版のパンフレットについては、外国人を雇用している企業や、集合住宅管理会社などで活用されている。</li> </ul>									
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ごみの分別方法やごみ減量の取り組み内容は変更となることが多いので、その度に外国語版の情報更新する必要がある。</li> <li>● 市ホームページや分別事典検索ウェブサイト「ごみサク」の多言語利用について対外的に周知し、認知度を高める必要がある。その際には、在住外国人が在籍する教育機関や企業、町内会などの協力を得ながら情報発信することで、効果的に周知することが望ましい。</li> <li>● 在住外国人の使用国語は多岐にわたるため、定期的に在住外国人の国籍を把握し、情報発信の方法を検討する。他方、すべての情報を多言語(やさしい日本語を含む)で発信することは困難であり、またそのことで多くの情報が失われることがある。そのため、市ホームページやSNSでの自動翻訳機能の一層の活用が必要となる。</li> <li>● 業務上での多言語発信の基準が存在しないため、担当者・担当課によって多言語(やさしい日本語を含む)での発信の頻度・内容に差が出る。</li> </ul>									
予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【広報課、企画課】引き続き、市ホームページにおける自動翻訳機能の利便性向上とともに、外国人向けページの作成などを進める。</li> <li>● 【生活環境課、廃棄物管理課、まちづくり推進課】現状の取り組みを継続する。</li> </ul>									

目指す姿 1:誰もが暮らしやすい多文化共生のまちづくり		想定される 取組主体	前期				後期			
重点目標 ② 生活情報の多言語化推進			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
<b>○生活案内、観光案内、案内標識等の多言語化</b> A) 地域での生活の利便性を図るため、行政サービス・医療機関・市内主要施設などを多言語で表記した生活ガイドブックや観光マップ、案内標識の整備を推進する。		協働								
進捗・実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【市民課(実施)】外国籍市民の増加を受けて、令和元年度に「住民票の写し」及び「住民票の写し等証明請求書」の英訳サンプル(項目説明、記載方法)を作成し、市民課、支所・出張所窓口に配備した。また、市ホームページにこれらのサンプルデータを掲載した。</li> <li>● 【管財契約課(実施)】平成30年度から、庁舎内の案内標識(課名・会議室名)について英語表記を導入した(約30カ所)</li> <li>● 【生活環境課(実施)】「えにわコミュニティバス(エコバス)」内のモニター画面の英語表記及び英語の音声案内を導入した</li> <li>● 【企画課(実施)】「恵庭市多文化共生のまちづくり委員会」(市内国際交流関係団体で構成)が平成28年度に作成した生活情報マップ及び医療マップ(英語版、やさしい日本語、中国語(繁体字及び簡体字))を市ホームページに掲載した。また、外国人からの要望に応じて各種マップ(印刷物)を配布した。</li> </ul>									
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 英語を理解する在住外国人にとって「住民票の写し」及び「住民票の写し等証明請求書」の内容が理解しやすいものになった。また市庁舎や「えにわコミュニティバス(エコバス)」の利便性向上に繋がった。</li> <li>● 生活情報マップ及び医療マップを利用した外国人から、「生活情報マップや医療マップは参考になった」というコメントがあった。</li> </ul>									
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 英語の資料や案内などが整備されたが、英語対応が可能な市職員は多くなく、依然として英語での十分な説明は難しい。</li> <li>● 生活情報マップや医療マップは効果的ではあるものの、情報の更新や印刷にコストがかかることが課題となる。</li> </ul>									
予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【管財契約課、生活環境課】現在行っている取り組みを継続する。</li> <li>● 【企画課】多言語版生活情報マップ及び医療マップは、作成当時よりインターネット上の地図サービスなどが充実しているため、費用対効果を検証しながら必要に応じて情報の更新、印刷などを行う。</li> </ul>									

目指す姿 1:誰もが暮らしやすい多文化共生のまちづくり 重点目標 ③ 外国人住民に対する相談体制の整備	想定される取組主体	前期				後期			
		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
<b>○相談体制・インフォメーションセンターの整備</b> A) 子育てや災害緊急時の対応など多様なニーズに対応できる相談体制の整備。 B) 旅行やビジネスなど一時的に訪れる外国人までが気軽に相談できるインフォメーションセンター等の設置。	(相談体制) 協働	計画	手法検討	実績	実施				
	(インフォメーションセンター) 行政	計画	検討	実績	実施	手法検討			

進捗・実績	(相談体制)	<ul style="list-style-type: none"> <li>【幼児保育課(手法検討)】令和2年3月に策定された「第2期えにわっこ☆すこやかプラン」において、今後、幼稚園や保育園などを利用する外国人幼児などの増加が見込まれるため、施設などの円滑な利用について、保護者や施設などに対し、必要な情報提供や支援を行うこととした。ただし、現時点で保護者又は受入れ園から、外国籍が理由(言葉が通じないなど)とする相談はない。</li> <li>【企画課(手法検討・実施)】相談体制を整備する方法を検討し、企画課に翻訳機(ポケトーク)一台を配備した。また、適宜、市関係部局に貸し出した。</li> <li>【企画課(実施)】北海道庁、札幌出入国在留管理局、千歳警察署、北海道外国人相談センターなどとの密な連絡・相談体制を維持した。</li> <li>【企画課(実施)】(独)国際協力機構(JICA)から多文化共生分野担当として派遣職員(1名)を受け入れた(令和3年から令和5年までの予定)。</li> </ul>
	(インフォメーションセンター)	<ul style="list-style-type: none"> <li>【花と緑・観光課(手法検討・実施)】外国人とのコミュニケーションを促進するため、令和2年度から観光案内所において翻訳機(ポケトーク)を導入した。</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>翻訳機(ポケトーク)を活用し外国人との意思疎通が可能となった。</li> <li>必要に応じて市関係部局や外部組織へ連絡・相談するなどし、外国人からの相談に対応した。</li> </ul>	
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>翻訳機により意思疎通が可能となったものの、翻訳機の精度に課題があるため、外国語対応に懸念がある。また、電話での相談では、翻訳機(ポケトーク)の使用ができないことが課題である。</li> </ul>	
予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>【幼児保育課】今後も各園の状況を確認しながら、個別支援が必要な状況が出た際に随時対応をすることとしている。</li> <li>【企画課】現在行っている取り組みを継続する。</li> </ul>	

目指す姿 1:誰もが暮らしやすい多文化共生のまちづくり		想定される 取組主体	前期				後期				
重点目標 ③ 外国人住民に対する相談体制の整備			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
<b>○多言語対応可能者の連絡体制の整備</b> A) 多言語対応可能者の登録方法の検討。 B) 登録者の活用手法の検討。		協働	計画		実施						
			手法 検討								
			実績		実施						
進捗・実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【企画課(実施)】平成30年及び平成29年度に市職員を対象とした多言語対応職員調査を実施した。庁内での多言語対応や救急時通訳の必要時に備え、外国語対応についての可否及び言語レベルを把握する調査を行い、結果を関係部局と共有した。</li> </ul>										
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多言語対応職員調査を通じて庁内での対応可能職員が明らかになり、外国語対応体制の整備に繋がった。また、実際に調査結果を活用し、窓口や電話対応を行った。</li> </ul>										
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多言語対応可能職員は少数で、また言語レベルも多様なため、これら職員による言語支援は限定的である。そのため各課が独力で対応する方法(インターネット、翻訳機の活用)も引き続き検討する必要がある。</li> </ul>										
予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【企画課】定期的に多言語対応職員調査を実施する。</li> </ul>										

目指す姿 1:誰もが暮らしやすい多文化共生のまちづくり		想定される 取組主体	前期				後期			
重点目標 ③ 外国人住民に対する相談体制の整備			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
<b>○外国籍又は海外出身の子どもたち(小中学生生徒等)へのサポート体制の整備</b> A) 必要とされている支援等の整理。 B) サポート体制のあり方の検討。		協働								
進捗・実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【教育総務課(実施)】北海道文教大学による日本語ボランティア支援を令和元年度に導入し、日本語支援が必要な児童1名に対して支援を行った。また、海外から転入してきた外国籍などの児童生徒の世帯向けに、多言語による就学案内を作成し活用した。</li> </ul>									
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 令和元年度に日本語ボランティア支援を受けた児童は、令和3年度には支援なしで学校生活を送ることができるようになった。また、外国籍の児童生徒の世帯に案内をする際、多言語説明資料を使うことで、理解を得やすくなった。</li> </ul>									
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現在のところ、支援が可能な言語が英語のみであり、多様なニーズには対応が難しいため、翻訳機(ポケットクなど)の活用も必要に応じて検討する。</li> </ul>									
予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【教育総務課】必要に応じて、多言語での就学案内や日本語支援が必要な児童生徒に対する支援を行う。</li> </ul>									

目指す姿 2:豊かな国際感覚を育む人づくり		想定される 取組主体	前期				後期			
重点目標 ① 外国語学習機会の充実			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
<b>○市民向け外国語講座等の推進</b> A) ALTや民間の人材を活用し、市民向け外国語講座等の事業の推進。		協働	<p>The diagram shows a timeline from H30 to R7. A blue arrow labeled '計画' (Planning) spans from H30 to R1. An orange arrow labeled '実施 (見直し)' (Implementation/Review) spans from R1 to R7. A purple arrow labeled '実績 実施' (Performance/Implementation) spans from R1 to R3.</p>							
進捗・実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【社会教育課(実施)】市民講座として以下の外国語講座を実施した。               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 平成30年度:英会話基礎(受講者30名)、英会話初級(受講者29名)、英会話中級(受講者26名)、ロシア語(11名)</li> <li>● 令和元年度:英会話基礎(受講者28名)、英会話初級(受講者30名)、英会話中級(受講者18名)、ロシア語(10名)</li> <li>● 令和2年度:英会話基礎(受講者11名)、英会話初級(受講者22名)、英会話中級(受講者12名)、ロシア語(10名)</li> <li>● 令和3年度:英会話基礎(受講者17名)、英会話初級(受講者18名)、英会話中級(受講者13名)、ロシア語(10名)</li> </ul> </li> <li>● 【広報課(実施)】恵庭市出前講座にて、「恵庭市の国際化」をテーマとした講座を準備した。ただし、全期間で実施実績なし(令和2年度に1件要望が上がるも、感染症の影響で中止となった)。</li> </ul>									
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市民講座の外国語講座では、基礎的な知識や技能の取得や、学習を通して学ぶ喜びに繋がるような学習機会を提供することができた。</li> </ul>									
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市民講座以外に外国語を学ぶ機会が増えたことにより、受講者が年々減少してきている。</li> <li>● 出前講座を活用してもらえるように、講座に関する周知が必要。</li> </ul>									
予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【社会教育課】令和4年度から、英会話については基礎講座のみとする。また、ロシア語講座については長期間にわたり開設してきたことから、他の外国語講座の開設を検討する予定。</li> <li>● 【広報課】今後も出前講座のメニューに「恵庭市の国際化」講座を掲載する。</li> </ul>									



目指す姿 2:豊かな国際感覚を育む人づくり		想定される 取組主体	前期				後期				
重点目標 ① 外国語学習機会の充実			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
<b>○子どもたちの語学能力とコミュニケーション能力向上事業の推進</b> A) 次世代を担う子どもたちの語学能力とコミュニケーション能力向上事業を推進。		協働									
進捗・実績	<b>【社会教育課(実施)】</b> 恵庭子ども塾事業の一環として「English Camp」及び「English Campus at HBU」を実施した。										
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「English Camp」(1泊2日の宿泊体験及び英語体験学習)の実施実績               <ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度:北海道胆振東部地震の影響により中止</li> <li>令和元年度:小学校5年生から中学校2年生を対象として、9月に実施し、20名が参加</li> <li>令和2年度:新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より中止</li> <li>令和3年度:新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より中止</li> </ul> </li> <li>「English Campus at HBU」(北海道文教大学構内における英語体験学習)の実施実績               <ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度:北海道胆振東部地震の影響により中止</li> <li>令和元年度:小学校2年生から4年生を対象として、10月実施し、28名が参加</li> <li>令和2年度:新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より中止</li> <li>令和3年度:新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より中止</li> </ul> </li> </ul>										
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「English Camp」ではALTの協力のもと、英会話に触れ、英語学習における興味・関心を育む機会を提供した。</li> <li>「English Campus at HBU」では北海道文教大学講師、学生、ALTの協力のもと、英語に親しみ、英語学習に対する興味・関心を育む機会を提供した。</li> </ul>										
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「English Camp」では宿泊を伴うことから、コロナ禍での実施が困難である。また「English Campus at HBU」は北海道文教大学の事業共催を目的に事業を計画しており、コロナ禍での再開にあっては、大学の受け入れ条件が整わなければならない。</li> </ul>										
予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>【社会教育課】「English Camp」については令和4年度の実施予定は無い。また令和5年度以降は感染症のまん延状況により判断する予定である。「English Campus at HBU」については、令和4年度11月中旬に実施する予定(コロナ感染拡大状況により中止の可能性あり)。また令和5年度以降は感染症のまん延状況により判断する予定。</li> </ul>										

目指す姿 2:豊かな国際感覚を育む人づくり		想定される 取組主体	前期				後期			
重点目標 ② 小中学校における国際理解教育の推進			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
<b>○異文化理解等の学習活動の推進</b> A) 小中学生向けの英語講座や異文化理解等の学習活動等の事業を推進。		協働								
進捗・実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【企画課(実施)】令和元年10月に柏陽中学校で「一日防災学校」を実施し、その中で災害時における「やさしい日本語」の活用についての講話を行った。柏陽中学校全校生徒及び地域住民の約300人が参加した。※(一財)自治体国際化協会の事業を通じて講師が派遣された。</li> <li>● 【企画課(実施)】東京オリンピックのホストタウンとしてグアテマラ共和国を受け入れた。受け入れ時にはグアテマラ共和国に関するプレゼンテーション資料を作成し市内教育機関に配布した。またプレゼンテーションボードを作成し市庁舎、空中歩廊に掲示した。また、市内の2団体に対して当該国を紹介する講座を実施した。</li> </ul>									
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● やさしい日本語という会話方法があることを周知できた。また、災害時の外国人に対する配慮につき周知することができた。</li> <li>● 他国の文化・習慣などを伝えることができ、国際理解に繋がった。</li> </ul>									
課題										
予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【企画課】やさしい日本語、多文化共生と防災の関係につき啓発活動を継続する。</li> </ul>									

目指す姿 2:豊かな国際感覚を育む人づくり		想定される 取組主体	前期				後期			
重点目標 ② 小中学校における国際理解教育の推進			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
<b>○海外の学校との交流活動を促進</b> A) 交流手法等の検討。 B) 海外の学校と交流を希望する市内学校の確認。 C) 交流先として可能な海外の学校等の募集。		協働								
進捗・実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【商工労働課(実施)】台湾の学校との交流活動を以下のとおり実施した。               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 台湾屏東縣私立美和高級中学(学生31名、教員2名) 平成30年5月、恵明中学校において、台湾屏東縣私立美和高中の学生31名と教員2名の受入を行い(ホームステイなし)、給食や授業体験を行うなど、交流を深めた。帰国日には、道と川の駅 花ロードえにわを訪問した。</li> <li>● 台北市立格致国民中学(生徒7名、教員2名) 令和元年5月、恵庭中学校において、台北市立格致国民中学の生徒7名と教員2名の受入を行い(ホームステイなし)、授業体験や部活動見学を行うなど、交流を深めた。</li> <li>● 台中市立文華高級中学校(生徒約30名)及び恵庭南高校(生徒26名) 令和3年3月、コロナ禍での交流として、北海道訪日教育旅行促進協議会(北海道事務局)の事業としてオンライン学校交流が行われた。WEB 会議システムを活用し、台湾・日本での学生生活の違いや、コロナ禍での生活、漫画・アニメなど文化のことなどを発表し合い交流した。</li> </ul> </li> </ul>									
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現地の学生との交流を通じて、多言語・異文化交流を行い、国際理解教育の推進に寄与した。また、恵庭市のPRやつながりを通じて、将来的なりピーターとなることで、観光や投資誘致への可能性が期待できる。</li> </ul>									
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度はオンライン含め実施することができなかった。</li> </ul>									
予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【商工労働課】令和4年度11月～12月に北海道文教大学付属高等学校及び台湾の高等学校がオンライン交流を行う予定。※他北海道訪日教育旅行促進協議会の動きに合わせて随時検討。</li> </ul>									

目指す姿 2:豊かな国際感覚を育む人づくり		想定される 取組主体	前期				後期			
重点目標 ② 小中学校における国際理解教育の推進			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
○ALTの配置		協働								
進捗・実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【教育総務課(実施)】市内小中学校の巡回指導のため4名の ALT(外国語指導助手)を配置した(外国語青年招致事業&lt;JET プログラム&gt;ALT1名、委託 ALT3名)。 ※令和2年新学習指導要領本格実施(小学校5・6年生で外国語教科化、3・4年生で外国語活動導入)に合わせて、令和元年度から ALT を1名増員し配置した。</li> </ul>									
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ALT を配置することで、外国語科・外国語活動の授業において、児童が標準的な英語音声に接し正確な発音を習得することや異文化理解を図ることができた。</li> </ul>									
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学力の向上や国際理解教育の推進のためには、生きた英語に触れる機会を充実させる必要があるが、人件費の問題から市内全小学校に対して満度に ALT を配置できていない状況である。</li> </ul>									
予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【教育総務課】ALT4名体制を継続する。市内全小学校に対して満度に ALT を配置できていない部分については、英語が堪能な地域人材により補完している状況だが、引き続き、恵庭市学力・体力向上推進会議において、地域人材の必要性の検証を行いながら補完体制も継続する。</li> </ul>									

目指す姿 2:豊かな国際感覚を育む人づくり		想定される 取組主体	前期				後期			
重点目標 ③ 国際社会で活躍できる人材の育成			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
<b>○セミナー・ワークショップなどの開催</b> A) 国際理解や国際感覚の醸成を促進するセミナーやワークショップの開催。 B) 国籍等による不当な差別や排斥運動を防止するための教育、啓発活動の促進。		協働								
進捗・実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【青年海外協力隊北海道 0B 会恵庭会】国際理解講座を以下のとおり実施した。               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 平成30年度:国際理解講座「夢は世界へ」</li> <li>● 令和元年度:国際理解講座「ベトナムの世界へ」</li> <li>● 令和2年度:国際理解講座「朝日が最も早い国 キリバス」</li> <li>● 令和3年度:国際理解講座「常春の郡 グアテマラ」</li> </ul> </li> <li>● 【社会教育課(実施)】恵庭市公民館主催事業「異文化交流・国際理解の大切さを学ぶ」において、以下の講演会を実施した。               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 令和元年度:講演「成長著しい今のベトナムと日本文化の違い」(参加者22名)</li> <li>● 令和3年度:講演「モンゴル国のことを知ろう」(参加者23名)</li> </ul> </li> <li>● 【企画課(実施)】令和元年10月に柏陽中学校で「一日防災学校」を実施し、災害時における「やさしい日本語」の活用についての講話を行った。柏陽中学校全校生徒及び地域住民の約300人が参加した。</li> <li>● 【企画課(実施)】令和4年1月に講演会「共に育む日本語支援活動の創造に向けて」を外国人材受け入れ企業、市民団体、教育機関などを対象として実施した。また、日本語学習支援ボランティアを対象として、日本語学習支援に関するボランティアセミナーを実施した。</li> </ul>									
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 講演会参加者から、「国際理解について学びたい」という意見が多く出された。</li> <li>● やさしい日本語という会話方法があることを周知できた。また、災害時の外国人に対する配慮につき周知することができた。</li> <li>● 外国人労働者への日本語教育支援の必要性及び国の施策について理解が深まったという意見があった。</li> </ul>									
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● これらの国際理解や国際感覚を醸成するようなイベント実施につき、講師を探すのが課題。</li> <li>● 外国人に対する差別や排斥運動についてのイベントが実施できていない。</li> </ul>									
予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【企画課】やさしい日本語、多文化共生と防災の関係につき啓発活動を継続する。また、国際理解・国際感覚の醸成を促進するセミナーを令和4年度に実施する予定である。</li> </ul>									

目指す姿 2:豊かな国際感覚を育む人づくり		想定される 取組主体	前期				後期				
重点目標 ③ 国際社会で活躍できる人材の育成			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
<b>○国際交流プログラムへの取り組みを促進</b> A) 留学やホームステイなどの国際交流プログラムの取り組みを促進。		協働									
進捗・実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【社会教育課(実施)】青少年国際交流委員会(恵庭ライオンズクラブ、恵庭ニュージーランド協会、恵庭商工会議所、恵庭市青少年育成市民の会)が主催するティマル市への中高生派遣事業に対して補助金を交付した。             <ul style="list-style-type: none"> <li>● 平成30年度:令和元年度に派遣事業が延期となったため補助金の交付なし</li> <li>● 令和元年度:前年度延期となっていた派遣事業が実施されたため、補助金を交付した。令和元年度実施分については、コロナ禍による派遣中止のため補助金の交付なし。</li> <li>● 令和2年度、令和3年度:コロナ禍による派遣事業中止のため補助金の交付なし。</li> </ul> </li> <li>● 【商工労働課(実施)】台湾からの教育旅行受け入れを以下のとおり実施した。             <ul style="list-style-type: none"> <li>● 台湾中正高級中学:平成30年6月、中正高級中学校の学生26名と教員4名が教育旅行で来道した。市内で学校交流は実施しなかったが、ホームステイの受け入れ(2家庭7名)とむらかみ牧場でのアイスクリーム作り体験を行った。</li> <li>● 台湾台中工業高級中学:平成30年12月、台中工業高級中学校の学生27名と教員3名が教育旅行で来道した。市内で学校交流は実施しなかったが、5家庭10名のホームステイ受け入れを行った。</li> <li>● 台中市東区大智国民小学校:令和元年8月22日、台中市東区大智国民小学校の生徒14名と教員・保護者13名が教育旅行で来道した。恵庭ミニバスケットボール少年団とミニバスケットの交流試合を行った他、大安寺での宿坊体験、ホームステイ受入(5家庭16名)を行った。</li> <li>● 台北市立中正高級中学校及び台北市立陽明高級中学校:令和元年12月、台北市立中正高級中学校と台北市立陽明高級中学校の生徒32名と教員2名が教育旅行で来道した。郷土資料館の見学の他、13家庭32名のホームステイ受け入れを行った。</li> </ul> </li> </ul>										
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ティマル市との姉妹都市交流の推進と、青少年の国際感覚の助長に資した。</li> <li>● 海外からの学生のホームステイ受入を行うことで、訪日教育旅行を実施することができた。また、長期的には恵庭市のPR やつながりを通じて、恵庭市への観光リピーターの創出、そして投資誘致の可能性に資するものとなった。</li> </ul>										
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新型コロナウイルス感染症の影響により、海外への渡航及び海外からの渡航が難しい状況となっている。</li> </ul>										
予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【社会教育課】派遣事業が実施される際は、今後も継続して補助金交付を予定。</li> <li>● 【商工労働課】北海道訪日教育旅行促進協議会の動きに合わせて随時、実施を検討する。</li> </ul>										

目指す姿 3:海外都市・人との交流から広がる国際化		想定される 取組主体	前期				後期			
重点目標 ① 市民の国際的視野を広める			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
<b>○中国・貴陽市、ニュージーランド・ティマル市との交流</b> A) これまでの交流経過を尊重し、引き続き交流を促進するとともに、それぞれの市民生活の豊かさや地域経済活性化に繋がる国際交流を実施していく。		協働								
<b>進捗・実績</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 【企画課(実施)】平成30年度はティマル市と姉妹都市締結10周年として、ティマル市から訪問団を受け入れた。</li> <li>● 【郷土資料館(実施)】平成31年2月17日から2月23日まで、ティマル市に郷土資料館の学芸員1名を派遣し、ティマル市のサウスカンタベリー博物館の職員と交流した。</li> <li>● 【企画課(実施)】図書交流・絵画交流に関し、例年は青少年国際交流派遣事業による学生の行き来を活用し行っていたが、令和元年度以降、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により従来のような実施に至っていない。</li> <li>● 【企画課(実施)】新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受けてティマル市及び貴陽市との交流は従来通りに実施できていないが、両市関係者とは不定期に連絡を取り合った。また、コロナ禍にあっても新年の挨拶カードの送付を継続した。</li> </ul>										
<b>効果</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ティマル市との姉妹都市締結10周年事業を通じて、両市の絆が深まった。また青少年の相互交流では、多文化に触れることで国際感覚に優れた人材育成に繋がった。</li> <li>● サウスカンタベリー博物館はティマル市だけではなく、周辺地域の総合博物館として機能し、また学校教育における取組や地域住民との係わり方が先進的だった。それらの視察結果を参考に、郷土資料館では「和光小の縄文学習」や資料館から各小学校に民俗資料を展示する「ふるさと宅配事業」の内容を充実した。</li> <li>● 図書交流・絵画交流を実施することで、市内における姉妹都市の周知に繋がった。また、異なる文化に触れる機会を提供したことで、市民の国際感覚・国際認識の涵養の促進につながった。</li> </ul>										
<b>課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、十分な交流を実施できなかった。そのため、状況を見極めつつ再開の可否を検討するとともに、リモート交流などの手法も検討する。</li> </ul>										
<b>予定</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 【企画課】各種交流事業を継続して実施する。</li> </ul>										

目指す姿 3:海外都市・人との交流から広がる国際化		想定される 取組主体	前期				後期			
重点目標 ① 市民の国際的視野を広める			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
<b>○姉妹都市・友好都市等の紹介</b> A) イベント会場等で姉妹都市・友好都市等を紹介する。		協働								
進捗・実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【企画課(実施)】平成30年度及び令和元年度のまちづくりチャレンジ協働事業「美育を通してこどもの「生きる力」を育む事業」(申請団体:美しいまちづくり恵庭ネットワーク)において、絵画展と併せてニュージーランド・ティマル市を紹介するコーナーを設置した。</li> <li>● 【企画課(実施)】市庁舎に姉妹都市及び友好都市を紹介するパネルを常設した。また姉妹都市及び友好都市に関して、市ホームページで紹介した。</li> </ul>									
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 絵画展への訪問者が紹介コーナーを観覧した。</li> </ul>									
課題										
予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【企画課】イベントなどにおいて適宜、姉妹都市・友好都市などの紹介を行う。</li> </ul>									



目指す姿 3:海外都市・人との交流から広がる国際化		想定される 取組主体	前期				後期			
重点目標 ② 団体と市との協働による交流の推進			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
<b>○留学生・ホームステイの派遣・受入れ促進</b> A) 各団体が実施している留学生・ホームステイの派遣・受入れ事業により多くの市民が参加できるよう事業を促進していく。		協働								
進捗・実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【社会教育課(実施)】青少年国際交流委員会(恵庭ライオンズクラブ、恵庭ニュージーランド協会、恵庭商工会議所、恵庭市青少年育成市民の会)が主催するティマル市への中高校生派遣事業に対して補助金を交付した。             <ul style="list-style-type: none"> <li>● 平成30年度:令和元年度に派遣事業が延期となったため補助金の交付なし</li> <li>● 令和元年度:前年度延期となっていた派遣事業が実施されたため、補助金を交付した。令和元年度実施分については、コロナ禍による派遣中止のため補助金の交付なし。</li> <li>● 令和2年度、令和3年度:コロナ禍による派遣事業中止のため補助金の交付なし。</li> </ul> </li> <li>● 【商工労働課(実施)】台湾からの教育旅行受け入れを以下のとおり実施した。             <ul style="list-style-type: none"> <li>● 台湾中正高級中学:平成30年6月、中正高級中学校の学生26名と教員4名が教育旅行で来道した。市内で学校交流は実施しなかったが、ホームステイの受け入れ(2家庭7名)とむらかみ牧場でのアイスクリーム作り体験を行った。</li> <li>● 台湾台中工業高級中学:平成30年12月、台中工業高級中学校の学生27名と教員3名が教育旅行で来道した。市内で学校交流は実施しなかったが、5家庭10名のホームステイ受け入れを行った。</li> <li>● 台中市東区大智国民小学校:令和元年8月22日、台中市東区大智国民小学校の生徒14名と教員・保護者13名が教育旅行で来道した。恵庭ミニバスケットボール少年団とミニバスケットの交流試合を行った他、大安寺での宿坊体験、ホームステイ受入(5家庭16名)を行った。</li> <li>● 台北市立中正高級中学校及び台北市立陽明高級中学校:令和元年12月、台北市立中正高級中学校と台北市立陽明高級中学校の生徒32名と教員2名が教育旅行で来道した。郷土資料館の見学の他、13家庭32名のホームステイ受け入れを行った。</li> </ul> </li> </ul>									
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ティマル市との姉妹都市交流の推進と、青少年の国際感覚の助長に資した。</li> <li>● 海外からの学生のホームステイ受入を行うことで、訪日教育旅行を実施することができた。また、長期的には恵庭市のPR やつながりを通じて、恵庭市への観光リピーターの創出、そして投資誘致の可能性に資するものとなった。</li> </ul>									
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新型コロナウイルス感染症の影響により、海外への渡航及び海外からの渡航が難しい状況となっている。</li> </ul>									
予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【社会教育課】派遣事業が実施される際は、今後も継続して補助金交付を予定。</li> <li>● 【商工労働課】北海道訪日教育旅行促進協議会の動きに合わせて随時、実施を検討する。</li> </ul>									

目指す姿 3:海外都市・人との交流から広がる国際化		想定される 取組主体	前期				後期			
重点目標 ② 団体と市との協働による交流の推進			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
<b>○海外都市との交流事業等に関する情報共有</b> A) 団体と行政とが協働で取り組み、より多くの市民に交流に参加してもらえるよう情報共有を進める。		協働								
進捗・実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【企画課(手法検討・実施)】平成30年度のティマル市訪問団の受け入れに際し、広く市内に情報を伝達する方法を検討した後、テレビ・新聞の取材対応、ラジオ番組出演、市ホームページ・facebook を通じた情報共有を実施した。また、ニュージーランドとの交流経験のある団体との連絡調整を行った。</li> <li>● 【企画課(手法検討・実施)】令和3年度に東京オリンピックホストタウンとしてグアテマラ競歩選手団を受け入れた際には、新型コロナウイルス感染症がまん延していた状況であったことから、情報共有の方法と交流方法について十分に検討し、テレビ・ラジオ・新聞の取材対応、地域情報誌での情報共有、ポスター作成及び配布、市ホームページ・facebook での広報を行った。</li> </ul>									
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 広報・情報共有活動により多くの市民が国際交流の情報を得ることができた。また、令和3年度に実施した東京オリンピックホストタウン事後交流会には多くの市民が参加した。</li> </ul>									
課題										
予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【企画課】適宜、マスメディア、市ホームページ・SNS を活用し情報発信に努める。</li> </ul>									

目指す姿 3:海外都市・人との交流から広がる国際化		想定される 取組主体	前期				後期			
重点目標 ③ 海外都市を通じて広げる世界との交流			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
<b>○大使館・領事館等を活用した事業等の推進</b> A) 交流先の都市とだけではなく、お互いの社会情勢や文化等への理解を深化させるために、双方の大使館・領事館等を活用した事業等を推進する。		協働								
<b>進捗・実績</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 【商工労働課(実施)】中華民国私立科学技術大学校院協進会(APUCT)(66校加盟)と協力覚書の調印を行った。令和4年1月24日(月)に教育交流活動を促進し、教育協力を強化し、教師と学生の質を向上させ、長期的な絆を築くことを目的として協力覚書を締結した。台北駐日経済文化代表處札幌分處の協力の下、恵庭市側17名・APUCT 側約30名参加した。</li> <li>● 【企画課(実施)】令和3年度にグアテマラ共和国にて実施された在グアテマラ日本国大使館主催天皇誕生日祝賀レセプションにおいて、恵庭市から提供した東京2020オリンピック時の事前合宿や事後交流会の写真などが公開され、ホストタウン及び北海道の自治体としてのPRに繋がった。</li> </ul>										
<b>効果</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 協力覚書の調印式では日台双方の理解が深められ、交流が図られた。</li> <li>● グアテマラ共和国内の政治家、政府高官、スポーツ業界関係者、在住日本人などに対し恵庭市のPRをすることができた。</li> </ul>										
<b>課題</b>										
<b>予定</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 【商工労働課】今後については随時検討する</li> <li>● 【企画課】令和4年度は、在グアテマラ日本国大使館と協同の交流事業を計画している。</li> </ul>										

目指す姿 4:観光・産業を通じて世界に魅力を発信		想定される 取組主体	前期				後期			
重点目標 ① 外国人観光客誘客促進			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
○海外向けPR活動の推進		協働								
進捗・実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【花と緑・観光課(実施)】台湾において教育・観光交流商談会(平成30年6月)、観光プロモーション(平成31年11月)を実施した。また、令和2年度から令和3年度には札幌市北京事務所の Weibo アカウントを活用し、中国本土に向けて12回の観光情報を発信した。</li> </ul>									
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 恵庭市を訪問先として検討したいといった声が多くあり、特に宿坊体験やスノーアクティビティなどの体験コンテンツに興味のある企業が多かった。尚、1回の配信ごとに8,000回～10,000回程度の閲覧があった。</li> </ul>									
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● インバウンドの回復に向けた効果的な取組を検討する必要がある。</li> </ul>									
予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【花と緑・観光課】引き続き、SNS などを通じて恵庭市の魅力を海外へ向けに発信する予定。</li> </ul>									

目指す姿 4:観光・産業を通じて世界に魅力を発信		想定される 取組主体	前期				後期			
重点目標 ① 外国人観光客誘客促進			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
<b>○魅力情報発信パンフレット等の作成</b> A) 外国人観光客の視点にたった魅力情報発信パンフレット等の作成を促進する。		協働								
進捗・実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【花と緑・観光課(実施)】令和2年度に「花のまち恵庭」としての観光の魅力がわかりやすく伝わり、近年の観光客の旅行形態やニーズに対応したパンフレット(旅するえにわ)を日本語、英語、繁体字の3言語で作成した。また令和3年度に一部内容を追加・修正し、増刷した。</li> </ul>									
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 恵庭の観光情報が分かりやすく掲載されているといった意見が多数あったことから、利便性の向上に繋がったと判断する。</li> </ul>									
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パンフレットがより多くの外国人観光客の手に渡るよう、配架場所を検討する。</li> </ul>									
予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【花と緑・観光課】今後も状況に応じて適宜追加・修正をし、最新の観光情報を掲載する。</li> </ul>									

目指す姿 4:観光・産業を通じて世界に魅力を発信		想定される 取組主体	前期				後期			
重点目標 ② 外国人観光客受け入れ体制の整備			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
○案内板、ホームページ、観光パンフレット、観光ガイドなどの外国語対応の充実		協働								
進捗・実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【商工労働課(実施)】ENIWA EYE(市観光ホームページ)の立ち上げ:平成30年2月オープン。恵庭の魅力発信を目的としたホームページであり、日・英・中(繁体字)と多言語対応している他、写真や動画を多く用い、視覚的にPRできる仕組みとなっている。ホームページ立ち上げと同時に SNS アカウント(Facebook・Instagram)を開設し、定期的な情報発信を実施した。令和3年4月1日から、(一社)恵庭観光協会と共同で当該ホームページを運営することになった。</li> <li>● 【商工労働課(実施)】ENIWA EYE の SNS アカウントによる定期情報発信:月2回程度、日本語と中国語(繁体字)の2ヶ国語で市内のイベント情報やおすすめスポットなどの情報を定期的に発信した。</li> <li>● 【商工労働課(実施)】WEB・Facebook 広告の実施:インターネット上で、恵庭や札幌近郊に関連するワードでの検索した人また興味・関心がある人に対し、ENIWA EYE のホームページへの誘導、Facebook アカウントへの「いいね」獲得を目的としてバナー広告画像を表示した。年2回(グリーンシーズンとホワイトシーズン)の頻度で実施した。</li> <li>● 【商工労働課(実施)】台湾人留学生による情報発信:市内留学生2名に市内観光施設・飲食店などを視察してもらい、その後、市観光 WEB ホームページ「ENIWA EYE」の SNS アカウント(Facebook・Instagram)にて、外国人目線からの感想などを写真・動画付きで発信した。</li> <li>● 【生活環境課(実施)】えにわコミュニティバス(エコバス)のモニターなどの英語表記を開始した。また音声案内に英語での案内を導入した。</li> <li>● 【花と緑・観光課(実施)】令和2年度から観光案内所において、翻訳機(ポケットク)を導入。花の拠点はなふるにおいて、英語の案内板を設置した。</li> <li>● 【花と緑・観光課(実施)】令和2年度に市内47カ所の飲食店を対象に、外国語表記のメニューの有無について調査した。</li> </ul>									
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 翻訳機(ポケットク)の導入や英語の案内版により、外国人観光客へのスムーズな対応ができた。これらの取り組みは恵庭の知名度向上に資した。</li> <li>● 恵庭市の魅力発信により、繁体字・英語圏への観光PRにつながっている。</li> </ul>									
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市観光ホームページに対する認知度向上が必要。またホームページ内の情報の鮮度の維持が必要。</li> </ul>									
予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【花と緑・観光課】受入体制を強化及び外国人観光客の満足度向上のため、市内各施設などにおける、外国語表記の拡充、多言語メニューや多言語ツールの導入を促進する。</li> <li>● 【商工労働課】月2回程度、市内のイベント情報やおすすめスポットなどの情報を定期的に発信する。また年2回(グリーンシーズンとホワイトシーズン)恵庭や札幌近郊に関連するワードでの検索、興味・関心のある人を対象にバナー画像広告を表示する。</li> <li>● 【生活環境課】取り組みを継続する。</li> </ul>									

目指す姿 4:観光・産業を通じて世界に魅力を発信		想定される 取組主体	前期				後期			
重点目標 ② 外国人観光客受け入れ体制の整備			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
○外国人接客研修等の開催、国際観光通訳ボランティア等の育成		協働								
進捗・実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【企画課(手法検討・実施)】外国人住民へ伝わるコミュニケーションの習得を目的として「やさしい日本語講座」を平成30年度に市職員を対象に実施した。特に、外国人が理解しやすいように日本語を組み立て・伝えるという手法は、外国語が不慣れな日本人でも実施できるメリットがあることから、「やさしい日本語」を推進する方針で進めた。</li> </ul>									
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● やさしい日本語に関する知識向上と、窓口などでの対応方法について理解を深めた。</li> </ul>									
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 研修などはコロナウイルス感染症感染拡大の影響から定期的に実施できなかった。また、国際観光通訳ボランティアなどの育成は実現できなかったが、観光案内所に自動翻訳機を整備するなどして、体制を強化した。</li> <li>● 一方、そのようなボランティアの存在により、外国人にとっての観光がより魅力的になる可能性が高いため、今後もボランティア育成などの事業の実施を検討することが望ましい。</li> </ul>									
予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【企画課】必要に応じて各種事業の実施を検討する。</li> </ul>									

目指す姿 4:観光・産業を通じて世界に魅力を発信		想定される 取組主体	前期				後期			
重点目標 ② 外国人観光客受け入れ体制の整備			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
<b>○外国人観光客への対応マニュアルや会話ツール等の活用促進</b> A) 国や北海道と連携した、外国人観光客の受け入れ体制の整備を進め、今後増加すると見込まれる一般住宅を活用した民泊においても活用を促す。		協働	計画		手法検討		実施			
			実績		実施					
進捗・実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【花と緑・観光課(実施)】アフターコロナにおけるインバウンドの回復時に対応できるよう、市内の民泊事業届出住宅の情報収集を実施した。</li> <li>● 【企画課(実施)】平成28年度に会話ツールとして病院で利用できる会話・単語シート、会話指差しシート、災害に係る単語シートを整備した後、それらを市ホームページに掲載した。また、適宜必要に応じて市民(外国人を含む)に印刷物を提供した。</li> </ul>									
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【花と緑・観光課】市内の民泊事業届出住宅は複数あることを確認した。</li> <li>● 【企画課】「外国人との会話の際、困ったときには会話ツールを利用したい」という市民からの意見があった。</li> </ul>									
課題										
予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【花と緑・観光課】外国人観光客に民泊を活用してもらえよう、SNS やパンフレットでの周知を検討する。また多言語ツールも活用しながら、観光案内所などにおいて積極的に宿泊情報を提供する予定。</li> <li>● 【企画課】継続して、平成28年年度に作成された病院で利用できる会話・単語シート、会話指差しシート、災害に係る単語シートを市ホームページ上に掲載する。適宜、必要に応じて更新作業を行う。</li> </ul>									



目指す姿 4:観光・産業を通じて世界に魅力を発信		想定される 取組主体	前期				後期			
重点目標 ③ 海外投資等誘致の推進			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
<b>○「恵庭」の知名度向上</b> A) 北海道等と連携し海外との経済交流を進め、「恵庭」のナショナル・ブランドからワールド・ブランドへの知名度向上を目指す。		協働								
進捗・実績	<b>【企画課(実施)】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 平成30年に中華人民共和国の李克強首相及び安部元総理が恵庭市を訪問した際に、受け入れ業務を実施。</li> <li>● 平成30年にトルコ政府関係者の視察団の受け入れ(JICA 事業の受け入れ)</li> <li>● 令和元年にベトナム政府関係者の視察団を受け入れた。</li> <li>● 令和元年にタイ国政府関係者の視察団の受け入れ(JICA 事業の受け入れ)</li> <li>● 令和3年度にグアテマラ共和国にて実施された在グアテマラ日本国大使館主催天皇誕生日祝賀レセプションにおいて、東京2020オリンピックホストタウンとして提供した事前合宿や事後交流会の写真などが公開されるなど、ホストタウンとして、また北海道の自治体としてのPRを行った。</li> </ul>									
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各国の政治家、政府高官、スポーツ業界関係者に対する恵庭市のPRに繋がった。</li> </ul>									
課題										
予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>【企画課】</b>視察などの要望があった際には、適宜受け入れを行う。</li> </ul>									

目指す姿 4:観光・産業を通じて世界に魅力を発信		想定される 取組主体	前期				後期			
重点目標 ③ 海外投資等誘致の推進			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
○海外企業等のニーズに対し、早急かつ的確に対応できる体制づくり		協働								
進捗・実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【商工労働課(実施)】海外企業誘致を目的とした商談会・セミナーについては、平成29年度以前に実施した。他方、本アクションプランの対象期間に実施した教育旅行、ホームステイの受け入れ、並びにホームページ管理はインバウンド需要の醸成はもとより、将来的なリピーター及び海外投資など誘致へつなげることを視野に事業を実施した。更に、他の招聘事業や物産展、インターンシップなど、広く誘致推進を目的としている。</li> </ul>									
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 長期的にみると、商工労働課が実施した各種事業は恵庭市への観光リピーターの創出、そして投資誘致の可能性に資するものとなった。</li> </ul>									
課題										
予定										

## (2) 調査結果総括

### 目指す姿1 誰もが暮らしやすい多文化共生のまちづくり

誰もが過ごしやすいまちづくりを目指して、異文化理解の促進活動、多言語化の取り組み、外国人相談体制整備などの様々な取り組みが実施されていることが確認できました。これらの取り組みを継続するとともに、専門的分野に関しては外部組織との連絡体制を活用した支援を行い、また、適宜、外国人からニーズ把握を行い、効率的・効果的に誰もが過ごしやすいまちづくりを進める必要があります。

### 目指す姿2 豊かな国際化を育む人づくり

国際感覚を育む人づくりに関しては、市民向けの外国語学習機会の提供や交流事業など、多種多様な取り組みが実施されました。これらの取り組みは、グローバル化社会で必要となる「異文化適応力」「コミュニケーション能力」「課題解決力」の育成に繋がったものと推測でき、継続的な取り組みにより、本市において国際社会の一員として活躍できる国際理解に長けた人材が多く輩出されることが期待できます。

### 目指す姿3 海外都市・人との交流から広がる国際化

国内外の外国人との交流については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前には、多くの取り組みが確認できました。一方、本テーマは感染症拡大の影響を最も受けたテーマの一つであり、海外渡航の制限により従前の国際交流方法の実施を行うことが出来なくなる期間がありました。そのような状況でも在住外国人を対象とした交流実績も確認されたことは、本市において国際交流が浸透した結果だと考えられます。

### 目指す姿4 観光・産業を通じて世界に魅力発信

日本国政府は2030年までに訪日外国人旅行者数6000万人を目標にし、旅行者の受け入れ環境整備を推進しています。新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響はありますが、引き続き恵庭市の観光産業を国内外へのアピールし、受け入れ体制を整えることで、より多くの方々に恵庭市を訪れていただき滞在を楽しんでいただくことが、地域の発展につながると考えます。

### その他:アクションプランの指標設定などについて

本アクションプランの進捗状況の取りまとめを通じて、進捗状況を定期的に確認し、さらには多くの方々に進捗を理解していただくことが大切であると再認識しました。

一方、それぞれの実施主体によって理念・方針・活動頻度が異なること、数値などには表れないような活動効果があることを鑑みると、本アクションプランの進捗を数値などの指標を用いて画一的に計ることは困難です。そのため、現時点では指標設定を行わないこととしますが、今後は行政、市民、企業、国際交流団体などが、本市の国際化の推進の進捗状況を確認できるような表現方法などを模索する方針です。

### (3) 現状と今後について

少子高齢化などによる影響で労働人口が減少し、産業においての人手不足が問題とされるなか、近年では外国人材の受け入れが加速しました。令和3年度末時点で国内の在留外国人数は276万人<sup>注1</sup>にのぼり、また令和3年10月末時点で約173万人<sup>注2</sup>の外国人が就労されています。全人口の約2%が外国人の方々であるという状況の中で、普段の暮らしの中でも外国人の方々との接点も多くなり、相互理解を基本とした多文化共生社会の推進が求められています。

恵庭市においては、令和4年8月31日時点で531名の外国籍市民の方がいらっしゃいます。本アクションプランを開始した平成30年4月1日を基準にすると、その数は約1.6倍になります。一方で約半数の方が「技能実習」や「特定技能」の在留資格を有しているため、現時点では外国人の方々に関する人口動態は流動的であると言えます。今後については予測が難しいところですが、外国人材を送り出すアジア諸国の経済成長によって、現地における収入と日本国内における賃金の差が縮小していくことが予測されています。加えて、他国との外国人材獲得競争の影響により、実習や就労目的で来日される外国人材数は限定的になる可能性も示されています。そのため、今後は国籍に関係なくすべての方が安心した生活を送ることができ、また活躍できる社会を構築し、外国人の方々に恵庭市を選んでもらえるようなまちづくりを進めることが重要になると考えます。

このような時代背景を鑑み、「恵庭宣言」<sup>注3</sup>にあるとおり「相互理解とコミュニティ」、「長い目で見た継続的な実践」を念頭に「誰もが快適に暮らせるまちづくり」を進めていきたいと考えています。

そのためには、感染症拡大による未曾有の災禍の中ではありますが、市民、町内会、民間団体及び行政の協働体制の下、継続的な取り組みが大切になりますので、国際化推進の趣旨にご理解をいただき、各分野での取り組みを推進していただきたいと思えます。

注1 「令和3年末現在における在留外国人数について」出入国在留管理庁  
([https://www.moj.go.jp/isa/publications/press/13\\_00001.html](https://www.moj.go.jp/isa/publications/press/13_00001.html))

注2 「外国人雇用状況」の届出状況まとめ(令和3年10月末現在) 厚生労働省  
([https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_23495.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_23495.html))

注3 恵庭市制施行50周年記念フォーラム(2021年7月11日実施)では、「恵庭宣言」とおして「全ての人が心豊かに幸せを実感できる社会を実現するため、様々な共生のまちづくりを進める」ことを参加者とともに確認した。同宣言において、「多文化との共生のまちづくり」につき「外国人と接する機会の増加や社会を支える外国人材への期待を踏まえ、多文化共生の取組が急務です。キーワードは「相互理解とコミュニティ」、「長い目で見た継続的な実践」、ポイントは誰もが快適に暮らせるまちづくりです。」と述べた。

恵庭市国際化推進アクションプラン

進捗状況確認調査 報告書

令和4年12月

恵庭市企画振興部企画課

〒061-1498 恵庭市京町1番地

Tel. 0123-33-3131

Fax. 0123-33-3137